## 注意事項

1. 各仕様の使用材料は所要量、塗り回数及び塗り間隔を厳守してください。
2. ボンフロン落書防止エナメルGT、ボンフロン落書防止クリヤーは主剤、硬化剤、添加剤の3液タイプになります。
3. 躯体にピンホール等が目立つ場合は落書きの完全な除去が難しい為、塗装前に補修を施す措置が必要になります。
4. 落書きを除去する際は、塗膜表面が傷つかないように注意してください。傷ついた面に落書きをされると完全な除去が出来なくなります。
5. 再塗装する場合は、被塗装面に十分な研摩をお願いします。
6. 落書き除去剤としては「消すぞーくん」（シントーファミリー製）を推奨します。
7. 雨筋汚れについては、低汚染型塗料と比較し、汚れやすい傾向にあります。
8. 艶消しは、原則スプレー施工でお願いします。（艶ムラ発生のリスクのため）

## 材料荷姿

| 材料名 | 入目（kg） | |
|---|---|---|
| ボンフロン落書防止エナメルGT | 主　剤 11.8kg<br>硬化剤 2kg<<br>添加剤 0.7kg<br>14.5kg | 主　剤 2.9kg<br>硬化剤 0.5kg<<br>添加剤 0.18kg<br>3.58kg |
| ボンフロン落書防止クリヤー | 主　剤 10kg<br>硬化剤 2.3kg<<br>添加剤 0.6kg<br>12.9kg | 主　剤 3kg<br>硬化剤 0.69kg<<br>添加剤 0.18kg<br>3.87kg |

AGC
Your Dreams, Our Challenge

LUMIFLON

ルミフロンはAGC㈱の登録商標です。 ボンフロンはAGCコーテック（株）の登録商標です。

**AGCコーテック株式会社** https://www.agccoat-tech.co.jp/

本　　社　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2-9　コンフォール安田ビル5F　TEL：03-5217-5101 FAX：03-5217-5106
西日本支店　〒530-0017　大阪府大阪市北区角田町8-1　大阪梅田ツインタワーズ・ノース35F　TEL：06-6361-0250 FAX：06-6361-0255

AGC
Your Dreams, Our Challenge

落書防止塗料

# ボンフロン落書防止エナメル工法
# ボンフロン落書防止クリヤー工法

# BONNFLON

# 素敵な建物を
# 落書きからガードしませんか

街中では落書きの被害が多発し、社会問題になっております。
落書きを消すのは容易ではありません。
40年の実績を誇るフッ素樹脂塗料「ボンフロン」が新たな機能に挑戦します。
「ボンフロン落書防止エナメル工法」「ボンフロン落書防止クリヤー工法」は
長期耐候性を維持し、高い撥油性により強い落書き防止性を持ち、
且つ落書きを簡単に消すことが出来ます。

特長 1

## 優れた落書き防止性と落書き除去性

高架橋度のフッ素樹脂と
特殊な撥油性添加物との相乗効果により、
優れた落書き防止性能と
落書き除去性能を発揮します。

特長 2

## 優れた繰り返し除去性能

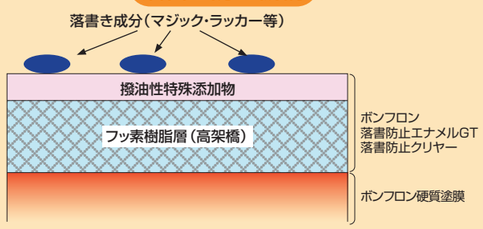
従来の他社類似品に比べ、
落書き防止・除去性能の
繰り返し耐久性に優れています。

特長 3

## 優れた塗膜性能

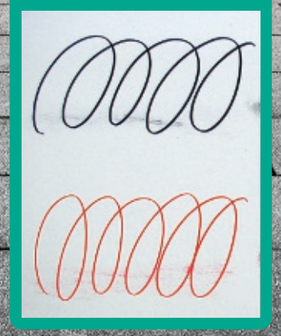
溶剤系フッ素塗料としての
優れた耐候性能と物性を
長期にわたって維持します。

### 落書き防止機構

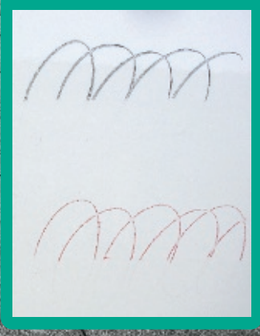



塗膜表面に浮いた撥油性特殊添加物が落書き成分をはじき
さらに、フッ素樹脂を高架橋にすることによって落書き除去
効果を向上させます。

### 一般仕様



### ボンフロン落書防止仕様



※油性マジックの下部を布にて空拭きした後の状態

# 標準塗装仕様例

## ボンフロン落書防止エナメルC工法　適用素地：RC、普通プレキャストコンクリート板、スレート板/GT-L225

| 工程 | | 使用材料 | 調合 主剤：硬化剤 | 希釈率 (%) | 標準所要量注1 (kg/m²) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) 工程内 | 塗装間隔(23℃) 工程外 | 施工方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 素地調整 | | 被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。 | | | | | | | |
| 1 | 下塗 | ABFライトエポプライマー 主剤 ／ 硬化剤 = 10 ／ 1 | 13.5 : 1.5 | ライトシンナー 5～20 | 0.10～0.13 | 1 | – | 16h以上 7日以内 | 刷毛・ローラー |
| | | | | | 0.13～0.17 | | | | エアレス |
| 2 | 上塗1 | ボンフロンGT＃1000 主剤 ／ 硬化剤 = 13 ／ 1 | 13.0 : 1.0 | ボンフロンシンナー 10～40 | 0.07～0.09 | 1 | – | 3h以上 7日以内 | 刷毛・ローラー |
| | | | | | 0.09～0.12 | | | | エアレス |
| 3 | 上塗2 | ボンフロン落書防止エナメルGT 主剤 ／ 硬化剤 ／ 添加剤 = 11.8 ／ 2.0 ／ 0.7 | 11.8 : 2.0 : 0.7 | ボンフロンシンナー 10～40 | 0.09～0.12 | 1 | – | – | 刷毛・ローラー |
| | | | | | 0.12～0.16 | | | | エアレス |
| 合　計 | | | | | | 3 | | | |

注1）標準所要量については、『塗装材料（希釈する前）の理論塗付量（kg/㎡）×100/塗着効率（%）』で算出しております。所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。

| 施工種 | 刷毛・ローラー | エアレススプレー | 各種吹付けガン |
|---|---|---|---|
| 塗着効率（%） | 80～100 | 60～80 | 50～70 |

注2）使用材料は標準所要量、塗回数及び塗装間隔を厳守してください。
注3）「ボンフロン落書エナメルGT」は」、主剤、硬化剤、添加剤の3液タイプになります。配合前に主剤をよく攪拌してください。
主剤攪拌後、硬化剤と添加剤を混入し再び良く攪拌してください。
注4）軽量PC、押出成型セメント板、GRC板は特殊仕様になります。
注5）落書防塗料「ボンフロン落書防止クリヤー」艶消し範囲

| | 艶有り | 7分艶 | 5分艶 | 3分艶 | 艶消し |
|---|---|---|---|---|---|
| ボンフロン落書防止エナメルGT | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※艶消しのローラー塗装は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

## ボンフロンACドライ+ボンフロン落書防止クリヤー工法　適用素地：打ち放しコンクリート、普通PC板、スレート板、押出成型セメント板/BF-L201

| 工程 | | 使用材料 | 調合 主剤：硬化剤 | 希釈率 (%) | 標準所要量注1 (kg/m²) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃) 工程内 | 塗装間隔(23℃) 工程外 | 施工方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 素地調整 | | 被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。 | | | | | | | |
| 1 | 下塗 | ボンガード | – | 既調合 | 0.13～0.16 | 1～2 | 指触 | 16h以上 | 刷毛・ローラー |
| | | | | | 0.16～0.22 | | | | エアレス |
| 2 | 中塗 | ボンフロンACドライ中塗 主剤 ／ 硬化剤 = 10 ／ 1 | 10 : 1 | ボンフロンシンナー 0～10 | 0.10～0.13 | 1 | – | 16h以上 | エアレス |
| 3 | 上塗1 | ボンフロンAC＃1100クリヤー ボンフロンAC＃1500カラークリヤー 主剤 ／ 硬化剤 = 13 ／ 1 | 13 : 1 | ボンフロンシンナー 20～40 | 0.08～0.11 | 1～2 | 指触 | 24h以上 | エアレス |
| 4 | 上塗2 | ボンフロン落書防止クリヤー 主剤 ／ 硬化剤 ／ 添加剤 = 10.0 ／ 2.3 ／ 0.6 | 10.0 : 2.3 : 0.6 | ボンフロンシンナー 0～5 | 0.08～0.09 | 1 | – | – | 刷毛・ローラー |
| | | | | | 0.09～0.13 | | | | エアレス |
| 合　計 | | | | | | 4～6 | | | |

注1）標準所要量については、『塗装材料（希釈する前）の理論塗付量（kg/㎡）×100/塗着効率（%）』で算出しております。所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。

| 施工種 | 刷毛・ローラー | エアレススプレー | 各種吹付けガン |
|---|---|---|---|
| 塗着効率（%） | 80～100 | 60～80 | 50～70 |

注2）塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点」を参照ください。
※（強・弱溶剤型塗料共通）　※（素地：無機系素地）
注3）ACドライ工法の注意事項
◇ ボンガードは乾燥すると塗装した面と未塗装部の区別が付きにくくなりますので、未塗装部を避けるために目地等を目安にしてブロック毎に塗装してください。
◇ ボンガードは一度に厚塗りすることなく、規定の塗布量を確実に塗布してください。（ボンガードは浸透型ですので追いかけ塗りが可能です。）
◇ ボンフロンACドライ中塗は、希釈、塗布量、塗間隔を厳守してください。塗布量が少ない場合、塗間隔が短い場合は濡れ色になります。また、ローラー、ハケ塗りは避けてください。
◇ ボンフロンAC#1500カラークリヤーは膜厚で色調が変わります。一度に厚塗りすることなく、色相を確認しながら吹きつけてください。
注4）落書防塗料「ボンフロン落書防止クリヤー」艶消し範囲

| | 艶有り | 7分艶 | 5分艶 | 3分艶 | 艶消し |
|---|---|---|---|---|---|
| ボンフロン落書防止クリヤー | ○ | – | – | – | ○ |

※艶消しのローラー塗装は、光沢ムラが生じる為、避けてください。
注5）「ボンフロン落書防止クリヤー」の塗装上の注意事項
◇ 主剤・硬化剤・添加剤の3液タイプになっています。
◇ 配合前に主剤を良く攪拌してください。
◇ 艶有りのローラー塗装は、なるべく短毛を使用してください。
◇ 雨すじ汚れに関しては、一般の溶剤系塗料に比べて汚れやすい傾向にあります。
◇ 落書を除去する際は、塗膜表面が傷つかないように注意してください。
◇ 除去剤としては、市販されている落書き除去剤「消すぞーくん」（シントーファミリー製）を推奨します。
注6）上塗2（ボンフロン落書防止クリヤー）の工程で短毛ローラーを使用する場合は、上塗1の塗装を十分乾燥させるため塗装間隔について次の点にご注意ください。（上塗1の乾燥が不十分な場合、上塗2の塗装時に「にじみ」等の発生により変色・色ムラ等が発生する可能性が有ります。）
①塗装間隔の目安

| 期間 | 塗装間隔 | 備考 |
|---|---|---|
| 4～6月 | 1日 | 平均気温が15℃以下では2日間 |
| 7～8月 | 1日 | |
| 9～10月 | 1日 | 平均気温が15℃以下では2日間 |
| 11～3月 | 3日 | |